

富山市民意識調査結果報告書 《概要版》

平成 25 年 12 月

富 山 市

目 次

1. 調査の概要	1
2. 富山市の住み良さ	2
① 富山市の住み心地	
② 富山市への定住意識	
③ 富山市に住み続けたい理由	
④ 富山市外へ引っ越したい理由	
3. 施策の満足度	4
4. 今後のまちづくりの重点	6
5. 市民の普段の取り組み	7

この冊子のみかた

- ・ 比率はすべて百分率で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、比率の合計が 100%を上回る。
- ・ N は各質問に対する回答者総数であり、比率算出の基数である。

1

調査の概要

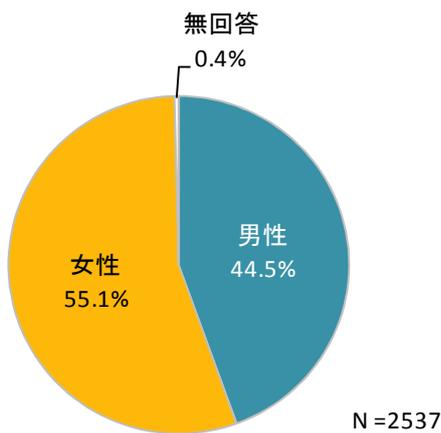
富山市は、市の将来像やまちづくりの指針となる『総合計画』を策定し、その施策の推進に努めています。

この意識調査は、市民の皆様へ、施策の満足度や市政への要望などについてのお考えやご意見をお伺いし、『総合計画』や今後の市政の推進に反映させていくために実施しました。

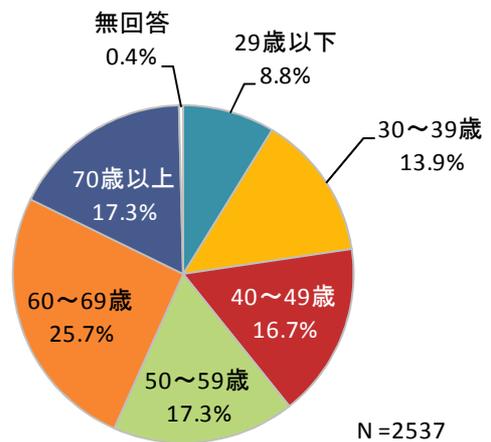
無作為に抽出した18歳以上の市民の皆様6,000人に依頼し、2,537人、42.3%の方から回答をいただきました。回答いただきました方の内訳は次のとおりです。

調査回答者内訳

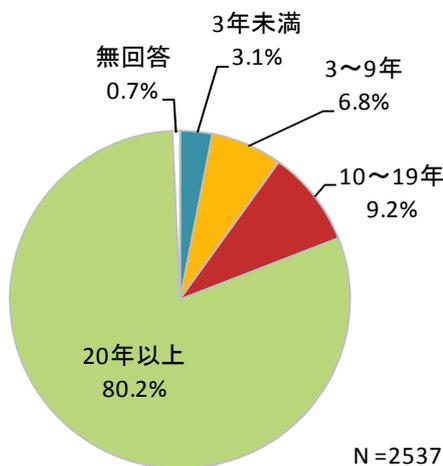
【性別】



【年齢別】



【居住年数別】



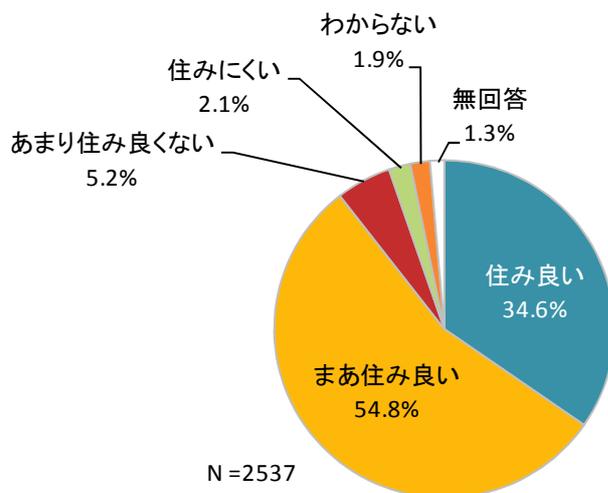
2 富山市の住み良さ

① 富山市の住み心地

- 9割近くの人が「住み良い」「まあ住み良い」と感じている

「まあ住み良い」という回答が54.8%と最も高く、「住み良い」(34.6%)と合わせると89.4%となり、「あまり住み良くない」(5.2%)、「住みにくい」(2.1%)を合わせた7.3%を大きく上回っています。

【富山市の住み心地】

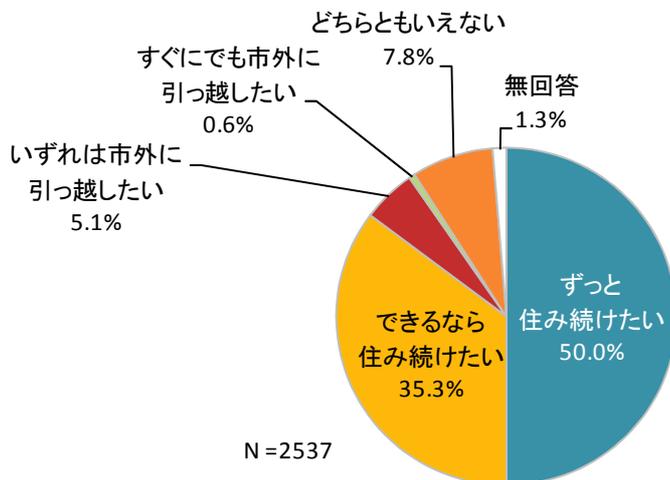


② 富山市への定住意識

- 8割以上が「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」と回答

「ずっと住み続けたい」という回答が50.0%と最も高く、「できるなら住み続けたい」(35.3%)と合わせると、全体の85.3%の方が今後も富山市に住み続けたいと考えています。

【富山市への定住意識】



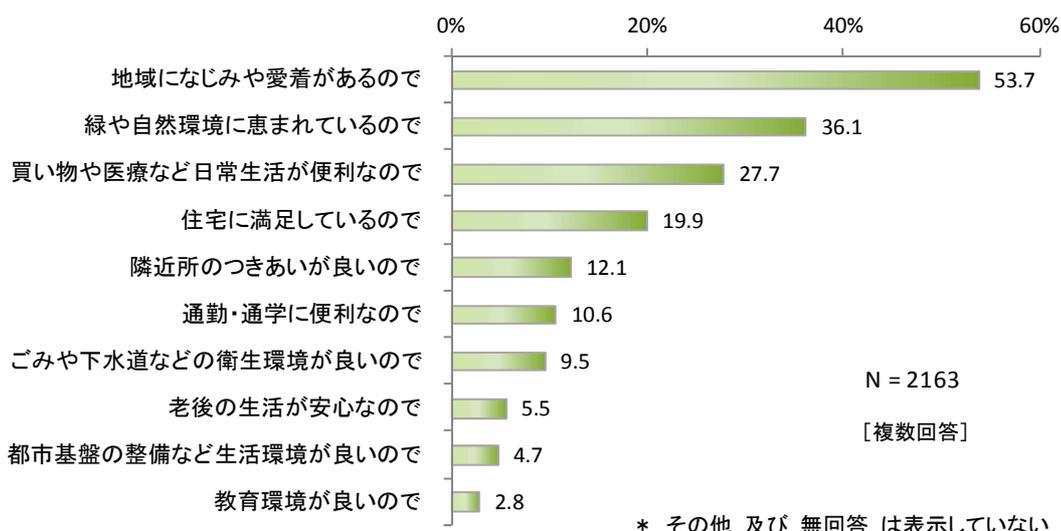
③ 富山市に住み続けたい理由

(前頁②の質問で、「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」と回答した方にお伺いしました)

● 「地域への愛着」や「自然環境」が定住意識を高めている

住み続けたい理由としては、「地域になじみや愛着があるので」が53.7%で最も高く、次いで「緑や自然環境に恵まれているので」(36.1%)、「買い物や医療など日常生活が便利なので」(27.7%)の順となっています。

【富山市に住み続けたい理由】



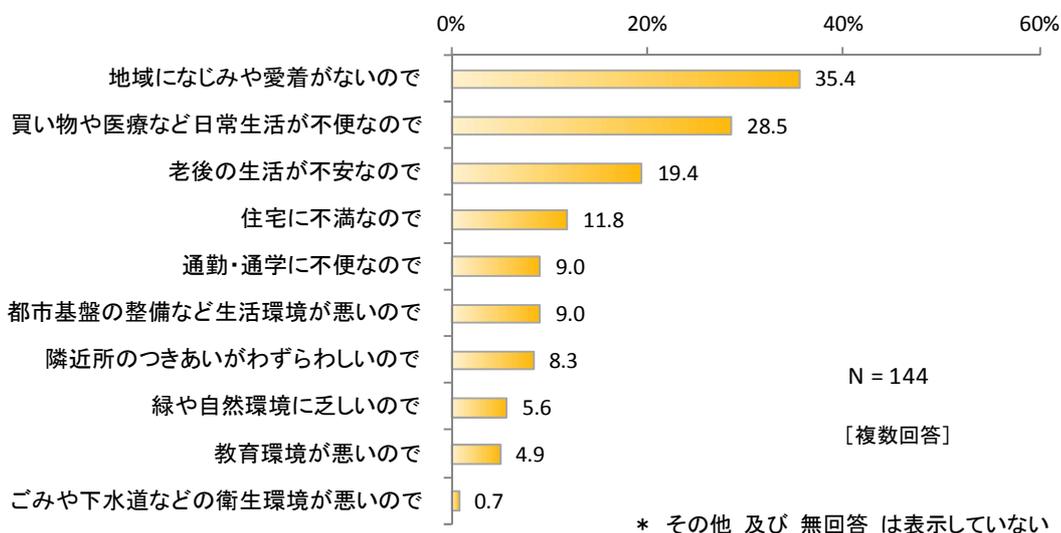
④ 富山市外へ引っ越したい理由

(前頁②の質問で、「いずれは市外に引っ越したい」「すぐにも市外に引っ越したい」と回答した方にお伺いしました)

● 「愛着のなさ」や「日常生活の不便さ」が引っ越したい主な理由

引っ越したい理由としては、「地域になじみや愛着がないので」が35.4%で最も高く、次いで「買い物や医療など日常生活が不便なので」(28.5%)、「老後の生活が不安なので」(19.4%)の順となっています。

【富山市外へ引っ越したい理由】



3 施策の満足度

富山市では5つの“まちづくりの目標”のもと、62の施策を設定して総合計画を推進しています。この62の施策について、市民の皆様の満足度をお尋ねしました。

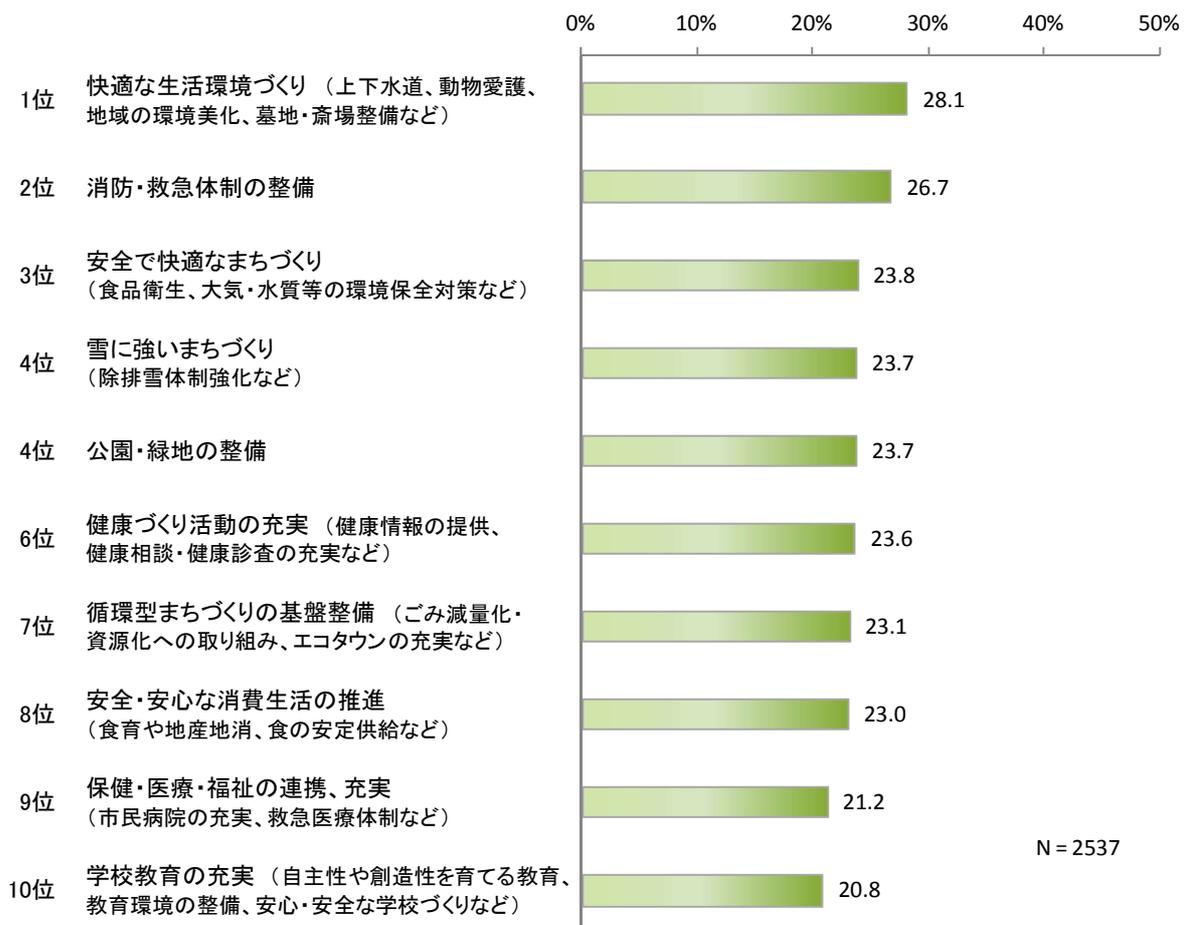
回答は6段階（満足—ほぼ満足—普通—やや不満—不満—わからない）ですが、ここではそのうちの「満足」と「ほぼ満足」を合わせて『満足』、「やや不満」と「不満」を合わせて『不満』としました。

その上位10項目は次のとおりです。

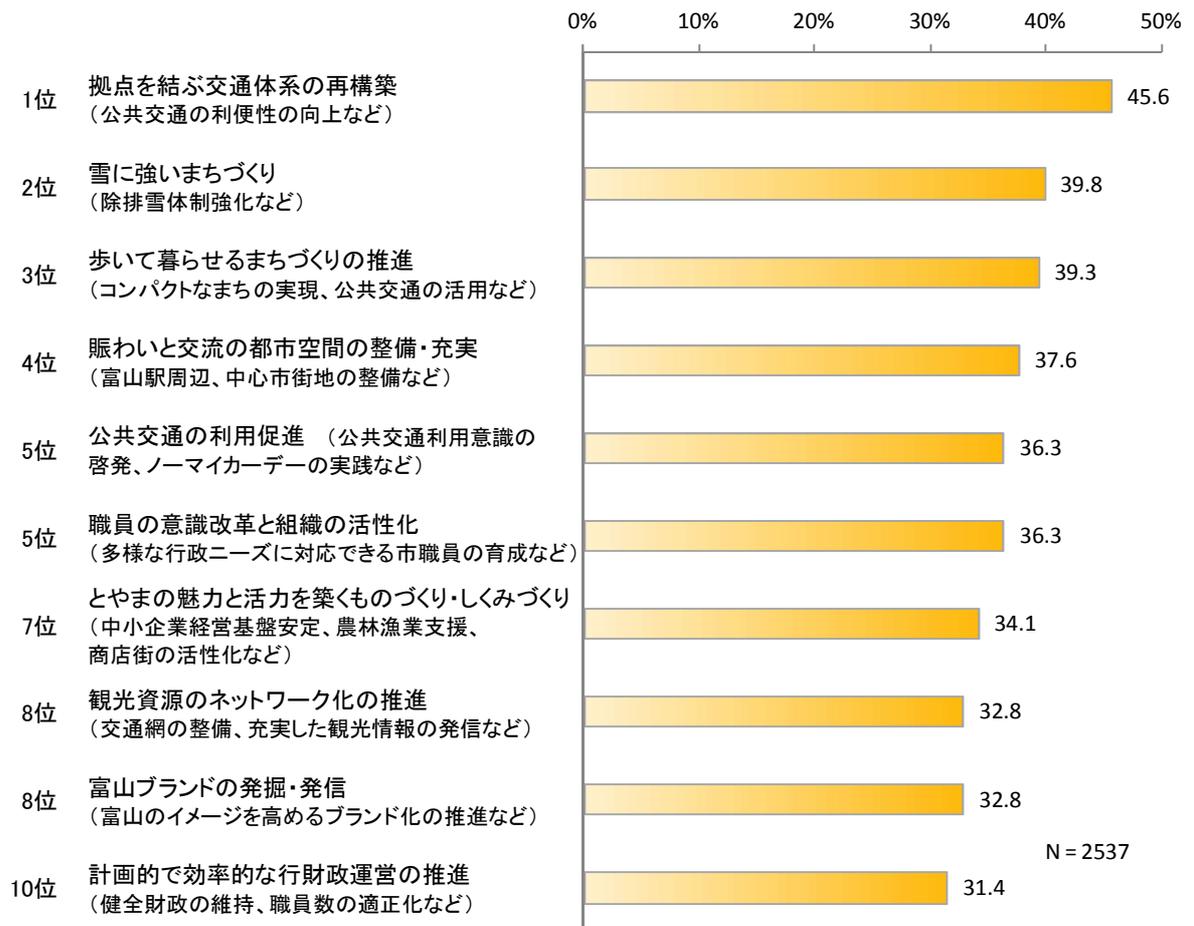
『満足』の割合が高い施策として、「快適な生活環境づくり」「消防・救急体制の整備」「安全で快適なまちづくり」などが挙げられています。

一方、『不満』の割合が高い施策には、「拠点を結ぶ交通体系の再構築」「雪に強いまちづくり」「歩いて暮らせるまちづくりの推進」などが挙げられています。

【『満足』（満足＋ほぼ満足）】



【『不満』（不満＋やや不満）】

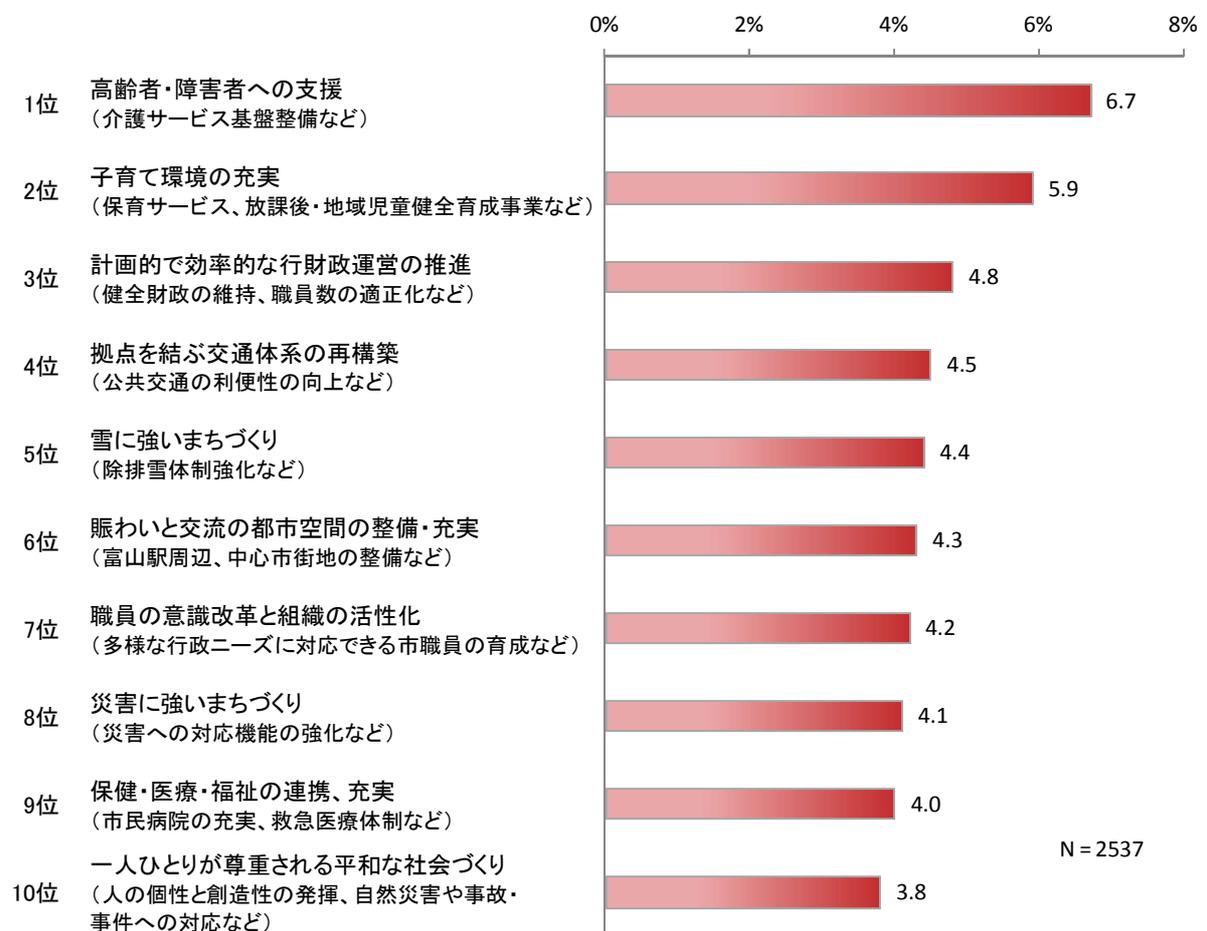


4 今後のまちづくりの重点

総合計画の62の施策のうち、最も重点的に取り組むべきであると思うものを、1つだけ選んで回答いただきました。その上位10項目は次のとおりです。

最も重点を置くべき施策の上位項目についてみると、福祉や医療に関する施策である「高齢者・障害者への支援」「子育て環境の充実」「保健・医療・福祉の連携、充実」や、市の運営に関する施策である「計画的で効率的な行財政運営の推進」「職員の意識改革と組織の活性化」のほか、「拠点を結ぶ交通体系の再構築」「賑わいと交流の都市空間の整備・充実」といった、公共交通を活かしたまちづくりに関する施策などが挙げられています。

【最も重点的に取り組むべきと思うもの】



5 市民の普段の取り組み

市民の皆様が普段から行っている取り組みについて 27 項目の中から選んで回答いただきました。その順位は次のとおりです。

市政情報を得るために「広報とやま」をお読みいただいている割合が最も高く、その他の上位には、「ごみの分別排出と減量化」「水資源の保全のための節水」「エコライフスタイルの推進」「地域の環境美化活動」「身近な地域の緑化」といった、環境に対して身近で出来る取り組みが多く挙げられています。また、自らの健康維持に関する取り組みである「定期的な健康診断の受診」「健康増進のためのスポーツ・レクリエーション活動」も上位にみられます。

【普段から行っている取り組み】



富山市民意識調査結果報告書《概要版》

平成 25 年 12 月 発行

富山市 企画管理部 企画調整課

〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号

TEL (076) 443-2010 (直通)

FAX (076) 443-2170

調査・分析 一般財団法人 北陸経済研究所

富山市丸の内一丁目 8 番 10 号

TEL (076) 433-1134
